

都中P通信

NO. 10

発行 平成23年5月 東京都立中学校PTA協議会 会長 水上 幸夫

都中Pでは数年に亘り「食」を一つのテーマとして活動をしています。今年度は「学校給食」を取り上げました。平成19年度には会員の皆様に「情報交換アンケート調査」にご協力いただき報告いたしましたが、その後の状況として、各地域内での給食の実態について教えていただき、都中Pフェアで報告したいと思います。下記日時にて開催しますので、皆様お誘い合わせの上ぜひご来場ください。

平成23年

8月9日(火)10日(水)

都庁第一本庁舎45階 南展望室

都中Pフェア開催!

テーマ「食」

〈サブテーマ 学校給食〉



内容(予定)

- 学校給食
 - ・地区の給食事情
 - ・給食に関するレポート
- 広報紙コンクール受賞作品展示
- 単P活動報告
- 都中P活動報告
- 関連団体紹介 他

こんな給食ありました!

給食レプリカ展示

思い出の給食

◇日Pからの東日本大震災被災地の各協議会訪問報告をお知らせします。

社団法人日本PTA全国協議会
会長 相川 敬

東日本大震災被災地の各協議会を訪問した現況報告

訪問日時 4月12日(火)・18日(月)・19日(火)
訪問場所 12日 福島県PTA・茨城県PTA
18日 宮城県PTA・仙台市PTA
19日 岩手県PTA
訪問者 4月12日は相川のみ、4月18日・19日は相川・森田専務

◎ 各協議会から共通した主な意見・要望

- ・悲惨な状況であるが、地域は元気に復興に向けて活動していること。
- ・多くの暖かい支援活動に感謝していること。
- ・改めて、学校の大切さ、PTAの協力・力強さを感じたこと。
- ・子どもたちの笑顔に救われていること。
- ・これから多くの要望が生じると思われるので、長期に渡る支援活動をお願いしたいこと。
- ・PTAの義援金は、雰囲気に関わらずに子どもたちの教育に関係することに有効に使われるよう検討して欲しいこと。
- ・子どもたちは明るく振舞っているが、心の傷は深いので学校・保護者と連携して丁寧な対応をして欲しいこと。
- ・日P全国研究大会などの事業については、予定通り進めて欲しいこと。

視察した被災地は報道で目にしている以上に悲惨であり、言葉では説明できない状況でした。日本PTAは出来るかぎり被災地の子どもたちへの支援をして行きたいと思っておりますので、引き続き各地方協議会のご協力を宜しくお願いいたします。

なお、4月27日(水)には、東北ブロックの臨時会長・事務局長会議が予定されていますので出席する予定です。なお、今回の4月18日・19日の東北3協議会への被災見舞い・現地訪問は、交通網の関係・地域状況に詳しい、遠藤(山形県)前日P副会長にお願いし、800キロに渡り案内していただきました。

ご友情に心から感謝を申し上げます。

様々なところで募金活動がおこなわれている中、皆様にはご協力をいただき、ありがとうございました。日Pでは義援金を子ども達の教育活動に活用していただけるよう、お送りしていきます。

都中Pとしてはそれに賛同し協力しています。



「セイフティプラン24」

都中Pが厚生事業として運用している会員向け団体保険。会員個人で加入。犯罪被害にも対応しており、東京都の「犯罪被害者等支援を進める会議」においても、他保険ではあまりない被害事故補償(交通事故含む)を打ち出した保険として高い評価を得ている。加入、問い合わせは都中Pまで。jpta@Tokyo-jpta.org